

2022年度 一般社団法人日本看護技術学会
第2回理事会 議事録

日 時：2022年11月1日（火）17：30～19：30

会 場：WEB 会議システム（ZOOM）

出席者：理 事；角濱 春美（理事長）

上野 栄一、大久保 暢子、前田 ひとみ、水戸 優子、若村 智子

監 事；武田 利明、深井 喜代子

事務局；伊津野 統久（株）春恒社

欠席者：佐伯 由香、本庄 恵子

議 題；

報告事項

1. 前回議事録の確認

2022年度第1回理事会（書面）議事録、2022年度第2回理事会（書面）議事録、2022年度第3回理事会（書面）議事録、を確認し、異議なく承認された。

2. 第20回学術集会の件

水戸大会長より資料に基づき、学術集会の準備状況（2022年11月5日（土）、6日（日）オンライン開催 講演・演題、事前参加登録、予算、会員総会）の報告があった。

3. 第21回学術集会の件

前田次期大会長より資料に基づき、学術集会の準備状況について報告された。会期：2023年10月14日15日、テーマ：ニューノーマル時代と看護技術、会場：市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市市民会館）熊本市国際交流会館。学術集会の倫理的問題への対応について倫理委員の中より1名の学術集会担当者を決めて学術集会側と調整することになった。

4. 各種委員会事業報告

編集委員会（前田委員長）

前田委員長より資料に基づき2022年度活動進捗報告があった。

研究活動推進委員会（水戸委員長）

水戸委員長より資料に基づき2022年度活動進捗報告があった。

技術成果検討委員会（大久保委員長）

大久保委員長より資料に基づき2022年度活動進捗報告が提示された。看保連担当の本庄理事欠席のため大久保委員長より活動報告があった。

広報委員会（上野委員長）

上野委員長より資料に基づき2022年度活動進捗報告があった。

倫理委員会（若村委員長）

若村委員長より資料に基づき 2022 年度活動進捗報告があった。COI 未提出者は各委員長から該当委員に再度催促することとなった。

5. 会員総会資料

角濱理事長より 2022 年 11 月 5 日の会員総会資料が提示された。質問等があれば事務局に連絡することとなった。

6. 20 周年記念事業

水戸担当理事より資料に基づき 2022 年度活動進捗報告があった。ページ数の増加に伴って予算を超える可能性があることが示された。決算の変更がある場合、社員に十分な説明を行うようにと監事から意見があり、社員総会で丁寧に説明することになった。

審議事項

7. 各種委員会検討事項

編集委員会（前田委員長）

前田委員長より資料に基づき JANA のアンケートおよび論文投稿ハンドブックの説明があった。当学会の HP にハンドブックを掲載することが承認された。掲載場所等詳細は広報委員会と調整することになった。

技術成果検討委員会（大久保委員長）

大久保委員長より資料に基づき第 8 期委員会活動方針が提示され、異議なく承認された。また浣腸班作成の公開動画に関する著作権表示についての資料が提示された。

前半『本動画は、看護職を対象に作製しており個人での視聴のみでなく、勉強会や研修会で広く使用していただけます。本動画の著作権は、日本看護技術学会にあります。無断で映像等を編集、改変、複製することを禁じます。』

後半『摘便は医療行為に当たります。実際のケアの提供は、動画の内容を参考に医師・看護師の判断のもと、医師・看護師および患者へのインフォームド・コンセントの実施の上で行われ、ケアの結果に伴う責任は各担当医師・看護師が負うことになります。』

本動画は、日本看護技術学会技術研究成果検討委員会グリセリン浣腸研究班で検討を行い、成果物として発行しました。』

文章の前半の文言は倫理委員会で、後半の文言は技術成果検討委員会で再度検討することになった。

8. 理事長審議事項

角濱理事長より資料が提示された。協議事項 1～4 は、次の 3 月の理事会で再度検討することになった。協議事項 5 は、看護理工学会、看護人間工学会との合同カンファレンスの提案についてまずは看護技術学会としての立ち位置をしっかりと確認した上で、3 学会でディスカッションしていく事が肝要であるということになった。本日の検討事項を角濱理事長から看護理工学会理事長へ報告

することになった。協議事項6は、名誉会員の推薦について菱沼典子第4期および第5期理事長が推挙され異議なく承認された。3月の理事会で必要な各規程の文言の修正等を行うことになった。

9. 入退会審査

角濱理事長より資料に基づき入会申込者1件の説明があり、入会申込書の回覧、検討の結果承認された。

10. その他

次回理事会日程について例年通り3月中を予定していることが確認された。開催日時、形式について後日調整することとなった。会議の時間については十分な時間をとり、予告時間を超えないようにとの指摘があった。

2022年11月○日

議事録作成人： _____

(角濱 春美)

議事録署名人：

出席監事： _____

(武田 利明)

(深井 喜代子)